

袋井市農業集落排水事業

中 期 経 営 計 画

(平成 1 7 年度～平成 2 1 年度)

実 績 報 告 書

平成 2 3 年 3 月

袋井市下水道課

平成18年3月に策定した袋井市農業集落排水事業中期経営計画（計画期間：平成17年度から平成21年度まで）の達成状況について、平成17年度から平成21年度までの決算に基づき、次のとおり報告いたします。

1 これまでの経過

農業集落排水事業は、農業集落の生活環境の改善、農地や公共用水域の水質保全を図り、安全、安心な生活を確保するうえで必要不可欠な基盤施設であるとともに、水環境の保全、水循環と資源の再利用を踏まえた循環型社会に貢献していく新たな役割を担っています。

農業集落排水施設は、農業集落地域の基盤施設として、地域との協働による施設管理を行うことにより、自立的な経営を目指しているところであります。

今後は、施設の老朽化に伴う修繕費の増加が見込まれるため、より一層の経費節減と適正な使用料の検討が必要となっています。

2 事業計画

（1）中期財政収支計画

① 特別会計収支計画

単位：千円

			平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
収入	使用料	計画	2,598	2,598	2,695	2,689	2,695
		実績	2,743	2,796	2,772	2,576	2,557
	一般会計繰入金	計画	16,600	18,100	16,700	16,100	16,300
		実績	16,600	17,452	16,700	16,100	15,200
	繰越金他	計画	1,802	502	805	811	805
		実績	1,880	1,154	1,300	1,239	861
	合 計	計画	21,000	21,200	20,200	19,600	19,800
		実績	21,223	21,402	20,772	19,915	18,618
支出	排水事業費	計画	8,145	8,362	7,217	6,954	7,800
		実績	7,423	7,468	6,896	6,712	5,862
	起債償還額	計画	12,855	12,838	12,683	12,346	11,700
		実績	12,653	12,653	12,653	12,343	11,612
	予備費	計画	0	0	300	300	300
		実績	0	0	0	0	0
	合 計	計画	21,000	21,200	20,200	19,600	19,800
		実績	20,076	20,121	19,549	19,055	17,474

② 起債残高

単位：千円

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
総額	計画	187,041	177,914	168,624	159,479	150,901
	実績	187,041	177,914	168,624	159,479	150,901

(2) 中期指標

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
収益的収支比率 (%)	計画	12.4	12.3	13.3	13.7	13.6
	実績	13.7	13.9	14.2	13.5	14.6
	達成度	110.5	113.0	106.8	98.5	107.4
繰入金比率 (%)	計画	79.0	85.4	82.7	82.1	82.3
	実績	78.2	81.5	80.4	80.8	81.6
	達成度	101.0	104.8	102.9	101.6	100.9
使用料徴収率 (%)	計画	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績	100.0	100.0	100.0	99.9	100.0
	達成度	100.0	100.0	100.0	99.9	100.0

(ア) 収益的収支比率＝使用料÷支出合計

(イ) 繰入金比率＝繰入金÷収入合計

(ウ) 達成度＝実績／計画（繰入金比率は、計画／実績）

(3) 定員管理に関する計画

一般行政部門で対応

(4) 給与の適正化に関する計画

一般行政部門で対応

3 経営基盤強化への取組

(1) 経営改革への取組

	概 要		取組状況				
			平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
農業集落排水事業特別会計の見直し	経常的な維持管理費の削減に努める。	計画	協働管理継続に向けた協議の実施	継続	継続	継続	継続
		実績	協働管理継続に向けた協議の実施	継続	継続	継続	継続
使用料の見直し	4年に1度適正な使用料検討する	計画			見直し案の検討		
		実績			見直しの時期の検討		

(2) 人材育成への取組

一般行政部門で対応

4 今後の対策等

項 目	今後の対策等
収益的収支比率（％）	使用料収入の大幅な伸びが期待出来ない状況で、施設の修繕費用の増加が予測されるため、徴収率の維持と計画的な修繕等による費用の抑制に努めた管理運営が求められる。
繰入金比率（％）	使用料収入は大幅な伸びが期待出来ないため、施設の維持管理費の縮減に努め、適正な管理運営により繰入金の抑制を図る必要がある。
使用料徴収率（％）	引き続き徴収率１００％を維持する。